

～新しい和田支所・市民センターの整備に向け第12回和田地域モデル事業協議会開催～

令和3年2月18日（木）に、“和田地域モデル事業協議会”を和田市民センターで開催しました。
（出席：和田の里づくり推進協議会「プロジェクトW」（伊藤代表ほか16名）、市（職員6名））

～協議会の内容～

本来の予定では、前回（令和3年1月13日）の協議会において、市から改めて提案した新しい和田支所・市民センターの4つの整備候補地について、具体的な検討・協議を行うこととしておりました。

しかし、今回の協議会に向けて、関係機関に出向き改めて調整・確認したところ、現市民センターを除いた、3つの整備候補地について、農用地区域からの除外の見通しが大きく変わることになりました。このため、見通しが変わったこと等について説明するとともに、これを受けて整備候補地についての市の考えも表明させていただきました。

整備候補地
①〔和田〕現市民センター
②〔和田〕 和田自治会エリア南側
③〔米光〕 国道376号沿線
④〔米光〕米光住宅地内

■和田支所・市民センター整備候補地について

調整・確認で変わった内容

①用地の取得

支所・市民センターの整備において、土地収用法に基づく事業認定の手続きを踏めば、あくまで土地所有者の方の理解と協力が前提ではありますが、農用地区域内の農地でも取得できる見通しとなりました。

②事業期間の短縮

上記手続きを踏むことや、市が出来る限り努力することで、あくまで順調に進捗した場合の大まかなスケジュールではありますが、これまでお示ししていた事業期間が、大幅に短縮できる見通しが立ってきました。（約4年10ヶ月→約3年8ヶ月）



この結果、昨年10月22日の第10回協議会において、出席者から意見のあった「現在の和田地域において一番の課題は安全・安心な避難所・防災拠点がないことである。」という問題・課題の解決の見通しが立ってきました。

第11回協議会（令和3年1月13日開催）では、新しい和田支所・市民センターの整備候補地について協議を進めるにあたり、基本的な考え方として下記のことを確認しています。

支所・市民センターの整備候補地協議における基本的な考え方

- 和田地域には避難所・防災拠点となる施設がないという住民の意見を尊重し、災害時に避難所・防災拠点として機能するエリア（土砂災害警戒区域外）での整備の可能性を探る。
- その努力の結果、適地がなければ土砂災害警戒区域（イエローゾーン）ではあるが、現市民センターの場所を整備候補地とする。

以上のような状況を踏まえた上で、今回の協議では整備候補地について以下のとおり市の考え方を示しました。

【市の考え方】

住民の皆様の**安全・安心**を**最優先**に考え、

〔米光〕国道376号沿線を整備候補地としたい。

〔米光〕国道376号沿線のメリット

▶安全・安心

想定される災害に対応できる防災拠点・避難所となる。

▶交通の利便性

地域内の基幹道路である国道376号に接しており、移動の利便性が高い。

▶周辺施設の集約化

まとまった敷地が確保できれば、支所・市民センター以外の他の施設の集約化、それに伴う更新等も図れ、和田地域のまちづくりが進む。

※なお、支所が整備されると、支所から半径300m以内の第1種農地は、固定資産税には影響がないものの、第3種農地になります。

■主な質問・意見

Q. 避難できる人数、規模はどう考えているか。

A. (床面積は) 700㎡程度を予定。避難の仕方を全体で考えていかなければいけない。

Q. 小学校から離れるが、どうやって子供を連れていくか。子供の安全安心につながるのか。

A. 市内の小中学校は危機管理マニュアルを作り子供たちの命を守っている。どういう災害の場合に、どういう避難をするのか、というもの。もう一回、整理したい。

Q. 現市民センターの場所で安全対策工事をする事で土砂災害に対応できないか。避難所にはならないか。

A. 工事などをして土砂災害警戒区域(イエローゾーン)は変わらない。山が丸ごとなくなるようなことでもなければ、指定区域を外す、危険性が完全に無くなる、とは言えない。土砂災害には適していない避難所ということになる。

Q. 用地買収の目処はあるのか。

A. 早急に地権者に打診を行いたいと考えている。

Q. 建設に掛かるまでに災害が起こる可能性もあるので、早めにやってもらいたい。

A. 和田の皆様を大変長くお待たせしている。早く整備候補地を決めて着手したい。

■(地域)全体説明会の開催について

支所・市民センターの整備候補地の絞り込みが終わったタイミングで、和田地域の住民の皆様を対象とした、説明会を開催することになりました。詳細が決まりましたら改めてお知らせします。

■第13回協議会の開催について(3月中下旬予定)

今回の市からの説明、出席者から出された意見や質問、それに対する市からの回答等を踏まえた上で、次回協議会において整備候補地の具体的な検討・協議を行います。